

令和8年度 シラバス

教 科	数学	科 目	数学C	学 年	第2学年	学 科 類 型	普通科理系
単位数	2単位	教科書	高等学校 数学C（数研出版）				
副教材	チャート式解法と演習数学Ⅲ＋C（数研出版）						

学習目標	ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする能力を伸ばすとともにそれらを活用する態度を育てます。
------	--

キャリア教育の視点	数学Cではベクトルや平面上の曲線と複素数についての知識を身に付け、計算問題や演習問題を解いていきます。数学に対する関心や探究心を深め、現実社会の種々の事象に対する総合的な見方や考え方を養います。また、数学を学ぶことで未知の広い世界を知り、自分の視野を広げることができます。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月 5月 6月 7月			
2 学 期	8月	第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算	ベクトルについての基本的な用語を理解し、内積などの演算について学びます。	中間考査
	9月	第2節 ベクトルと平面図形	ベクトルの平面図形への応用について学び、その有用性について理解できるようにします。	
	10月	第2章 空間のベクトル	ベクトルの平面図形への応用について学び、その有用性について理解できるようにします。 空間のベクトルについて学びます。	
	11月			
	12月			期末考査
3 学 期	1月	第3章 複素数平面	複素数平面について理解し、その図形への応用について学びます。	学年末考査
	2月	第4章 式と曲線 第1節 2次曲線	2次曲線とはどのような曲線であるのかを理解し、その有用性について学びます。 極座標の考え方について学びます。	
	3月	第2節 媒介変数表示と極座標		

学習方法	授業で教科書の内容をしっかりと理解し、その後復習を行ったり日々の課題を活用したりすることによって、自分の手で計算などを確認してください。さらに、チャートなどの応用問題演習によって知識の定着と学力のアップを図ってください。自分の将来を見据えて計画的にしっかりと学習に取り組みましょう。
------	---

評価の仕方	定期考査の得点と平常点で算出します。 平常点は、課題・小テスト・ノートなどを考慮して総合的に評価します。 その際、知識・技能や思考・判断・表現や主体的に学習に取り組む態度も考慮します。
-------	--

備考	
----	--

